

「感性に響く言葉大切に」

北 区

エッセイストクラブ
創立10周年記念

志茂田さん講演

県エッセイストクラブ（柳生尚志会長）の創立10周年記念講演会が北区であり、直木賞

作家の志茂田景樹さんが、長年続けている読み聞かせボランティアで学んだ言葉の持つ力などについて語った。

志茂田さんは「命が何よりも尊いことを絵本の感動を通して伝えたい」と14年前、自作童話の読み聞かせを始めた。これまでに1500回を超え、東日本大震災の被災地でも行った。栃木県内の避難所では、子どもに「ぼくこれからどうなるんだろう」と問われて返

事に詰まったこともあったが、少しでも心を癒やせるならと思いを新たにしたいという。

また、宮城県気仙沼市・大島の小学校は、子どもたちの愛読していた雑誌に連載していた詩人、水上不二の

母校で、一編の詩が10歳の自分に引き戻してくれたという。「感性に響く言葉は、ずっと言葉としてその人の心に残る。言葉を大切にしていきたい」と語り、サクスの演奏をバックに身ぶりを交えなが

田景樹 先生
(直木賞作家)



県エッセイストクラブの創立10周年記念講演会で、読み聞かせについて語る志茂田景樹さん―北区で